

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30 年 6 月 25 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104138		
法人名	医療法人社団博寿会山下医院		
事業所名	グループホーム博寿会ほほえみ		
所在地	〒739-1734 広島市安佐北区口田1丁目14-10 (電話) 082-843-1717		
自己評価作成日	平成30年5月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3470104138-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年6月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

『入居者さんがどんな景色をみて、どんな暮らしをされ、過ごしておられたか』を大切にしています。地域の子供たちとの関わりや、近隣の商店にも、気軽に出掛けられる普通の暮らしを援助することが大切です。地域との連携をとり認知症の理解を深める活動を行っています。母体医療法人との連携で安心して過ごして頂けるホームでありたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は平成16年に開設され、JR駅近くの住宅街に立地している。河川敷の自然を感じ近くのスーパーや畑に行く事などをホームでの生活に取り入れている。○隣の敷地に同法人の医院があり、ホームでの生活状況や体調を毎日、院長に報告し助言は介護場面に取り入れている。日常的また変化時や重篤化時にも、本人や家族の意向を加味し、医療との密な連携で日常的な介護や看取りケアに繋げている。○職員は入居前に、本人がみていた景色や生活の情報を大切にして「あるがまま」そして「パートナーとして」支える事を基本として、管理者による職員研修や、穏やかな環境作りを工夫する取り組みを継続している。○職員はスキルアップ外部研修にも積極的に参加し、認知症ケアの専門性を高める取り組みが行われている。

自己評価	外部評価	項目(ほほえみ 1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	H30年度自己評価	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	『やさしさを大切にふれあいを忘れずに』掲示しており、多くの職員は日々確認し実践に繋げているように心がけている。常に自問自答しながら日々の仕事に当たっている。	開設当時から理念は、見直しや掘り下げを繰り返し、今も変わらないケアの根幹となっている。理念を掲示し、職員は仕事開始時に意識する事が習慣となっている。理念「やさしさを大切にふれあいを忘れずに」を基盤とした介護の研修と実践をチーム全体で取り組んでいる。	理念を基に、フロア毎の目標の定め、個人目標や実践の振り返りを行う機会(例えば個人面談)を設ける事で、より理念の浸透、共有化に繋がると期待される。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	・食品や日用品の買い物は近隣の店舗へ入居者と一緒に出外をして購入している。近隣の畑をされている方から野菜を頂いたり、苗のお世話をしてもらうことがある。母体診療所への通院時には患者さんと話をしたり顔なじみの挨拶を入居者自ら行っている。	近所のスーパーに買い物に行った時や、隣の母体医院受診時に顔なじみの方に出会った時など、日常的に挨拶の機会がある。恒例の地域の秋祭りには子供達との触れ合いがあるほか、近隣から野菜苗の提供や土づくりの助言を度々頂き、地域に根付いた事業所として、良好な関係が築かれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の中学生の職場体験の受け入れでは、体験に来た中学生と一緒にオヤツ作りをするなど、入居者との交流が出来る様なプログラムを継続的に実施している。又管理者は、認知症アドバイザーとして日々の実践の様子を紹介した。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	・運営推進会議は奇数月の第4火曜日14時から実施し、連絡や開催後の議事録報告もしており、事故・苦情ともに意見を求めている。しかし参加する家族は固定されており参加意欲を高める様な工夫の必要性を感じる。	運営推進会議は2か月に1回開催され、利用者・家族・地域役員・包括支援センター職員などの参加が毎回あり、事業所の情報を報告している。外部講師による健康教室を組み入れ、参加を呼び掛けたり、家族会の報告やアンケート結果を伝えており、サービス向上に繋げる取り組みを行っている。	出席されていない家族の参加を促す工夫の継続により、双方向の意見交換による運営推進会議を期待する。ヒヤリハットや事故報告に加え、その後の様子や介護の工夫などの情報を発信して、事業所便りと共にお知らせするなどの工夫を提案する。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	・運営推進会議の連絡は区の介護保険課へ毎回しているが、欠席が続いている。	包括支援センターを通じて、地域の小中学生を対象にした認知症サポーター養成講座に関わっている。また福祉施策などをスムーズに活用できるよう市町との連携や協力関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目(ほほえみ 1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	H30年度自己評価	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>今回改正された身体拘束廃止に係る事項には、4月の段階で研修を実施し、委員会の取り組みも始まっている。</p>	<p>管理者が講師となり「4月からの身体拘束廃止に関する改定」の研修を積み重ね、日々実践している。事業所周囲の水路や鉄道がある事を考慮し玄関のみ施錠しているが、会話を含め「抑圧されたケアをしない対応力」を培う研修も繰り返し行い、更に職員同士がチェックし合う体制も浸透している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>・ホーム内研修を行い「虐待防止」に対する取り組みを学ぶ機会を持った。認知症の対応力を向上する研修が不適切ケアを防止出来るとの視点でストレスに対する研修も行った。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>毎年1回以上権利擁護や後見に関する研修を行っている。入居者の中で成年後見制度を選択する方も増加している為、日常的に司法書士との連携も行っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・契約および解約の際には、十分な説明をしている。その後不安や疑問点などは、来所時などに説明を行い納得されている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・面会時家族からの意見要望があれば傾聴し、運営に反映させている。2ヶ月に1回の運営推進会議でひやりはつとや事故報告などが参加者に報告され、意見を出して頂く様に心掛けている。</p>	<p>毎月の事業所便りで個々の様子が伝わる写真などを発信したり、面会時には、職員が利用者の様子や体調などを伝え、家族の意見や要望を聴くようにコミュニケーションをとっている。家族からの相談を傾聴し、管理者が中心となって改善した事例もあり、利用者や家族の声を運営に反映させている</p>	

自己評価	外部評価	項目(ほほえみ 1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	H30年度自己評価	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	・シフト勤務による職員同士の連携の取りにくさなどの改善にミーティングの実施を行っている。	定期的に事業所内ミーティングやスタッフミーティングを行い、管理者はイベントや行事のアイデア、サービス内容、勤務シフトなどに関して職員の意見を聞き、運営に反映させている。また必要時、職員の個別の事情を聴きながら就業継続できる体制につなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	・日勤勤務の職員は、全員が介護福祉士資格を持ち介護支援専門員資格を取得した職員もいる。処遇改善加算に見合った給付がされており、研修への参加希望は出来るだけ調整して受講できる体制をとっている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	・ホーム内研修として毎月テーマを決めて研修を全員が受講している。管理者は社会福祉士資格を取得したが、必要な授業参加の機会は申請し調整することで確保する様にしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	・地域包括主催の口田地区地域密着サービス連携会議には参加し、近隣のグループホームの管理者と顔合わせや意見交換をしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	・入居決定後の自宅訪問には、担当職員を同行して訪問したり、入居日を担当者が勤務する日に選択することで、本人の緊張を和らげる様にしており、入居事前情報を熟読し必要事項を把握する。本人の思いが引き出せるように会話に配慮し、引き出した情報の共有をし実践に移すようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(ほぼえみ 1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	H30年度自己評価	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	・入居時の提出書類に『どんな生活がしたいか?して欲しいか?』『不安なこと?』など記入して頂くようにしている。また担当者を決めて支援や傾聴に努めており、家族の不安や要望などがあれば出来るだけ素早い対応をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	・入所前の情報から何が必要か話し合いを持ち、検討実践するその後、早めに再検討必要かケアマネに報告する。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	・入居者さんの中には、食事の盛付けを毎日されている方や洗濯物の整理など、自分で出来る事を行って頂いており、時々職員から出来そうな事があれば声をかけさせて頂くこともあるが、何をどうしたいのかどうありたいのか気持ちを口に出せるように関わりを持つ細かいサインを見逃さない様になっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	・家族の役割は、職員では代われないかけがえないものであると考えている。ご家族には「一緒に何か食べに行こうか」などの思いがあることは実行して下さるようにお伝えしているし、日々あったこと、言われた事思いを家族来所時報告させて頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	来所された時にはゆっくりと話が出来き、楽しい時間が過ごせるように環境を整えている。	入居前の生活様式や習慣を実際に確認し、チームで共有している。馴染みの場所や人との関係性が続くような具体的な支援をケアプランに示し、可能な限り実現に向け支援している。墓参り、自宅への一時帰宅、習い事などに同行したり、知人・親戚などの来所など、今までの関係が続くよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(ほほえみ 1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	H30年度自己評価	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	・本人の話利用者同士の関係を把握した上で、様々な事柄を提供する様に努めている。特に、共有の話題を提供し入居者の方々が自ら会話に参加出来る様に支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	・過去には看取りをしたことの振り返りを目的にデスカンファレンスを実施したことがある。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・会話、本人の様子、言葉に対して敏感になることと、日々の関わりの中でどのような気持ちを持ち、何を望んでいるか聞き出せる状況環境に努め、可能であれば実行にむけ他の職員と話し合う。本人の意向がなるべく尊重出来る様に検討している。	会話・動作・表情などから本人の気持ちを敏感にくみ取り、協力しながら意向が実現するように職員の人員に余裕を持たせている。「食べてみたかった弁当や手芸店での買い物、美術館に行く、我が家を見るなど」個別の意向を把握し、実施された例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	・入居決定と同時に住んでいた家、部屋を訪問し、どんな景色の中でどう過ごしておられたかを確認している。写真を撮り他の提出書類やアセスメントなどと一緒に職員に事前回覧し、把握をしている。ご家族、本人の話を読む、聴くことで情報収集をする、職員同士での情報交換に繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	朝の申し送りと対応時変化があればその都度記録に記入、更に口頭でも連絡しあい現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(ほほえみ 1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	H30年度自己評価	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>・計画作成者は十分なアセスメントと課題分析を実施した上で、職員担当者と話し合いを行い介護計画を作成するようにしている、定期カンファレンスを開催し現時点での問題点課題を上げ検討し取り組む様にしている。</p>	<p>日頃の関わりの中で、担当職員が本人や家族の気持ち・医療情報を得て、アセスメント・話し合い後、生活パターンを大切にしながら介護計画を立案している。職員が課題や個別的な対応を確認実施しやすいよう第2表の内容を掲示し、モニタリングを繰り返しながら現状に即したプラン作りに取り組んでいる。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>・日々の介護記録ノート連絡による職員同士の情報共有により質の高い介護計画となるように努めている。また、会話から生まれる心の声を聞き逃さな様に記録する。又、他の職員も口頭で伝える様にしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>・入居者に変化が生じればその都度ケアマネに報告し、検討試みを行っている。しかし多機能化までには至っていない。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>・地域の商店に、職員同伴にての買い物をしている。また髪を染めたい入居者には、地域の訪問美容のスタッフに訪問してもらい染髪してもらったりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>・病院との併設により、すぐ対応出来る。又、かかりつけの病院がある方は、ご家族の協力のもと通院されている。</p>	<p>隣接する母体医療法人と日頃から連携を図りながら、日常診察や小さな体調変化にも迅速に対応できる体制が整っている。原則、家族対応になっている専門医の受診時は、ホームから情報提供を行い、訪問歯科診療など適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(ほぼえみ 1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	H30年度自己評価	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	・入居者は入居時に、法人の診療所を受診し、健康チェックをしている。日々の医療体制としては、毎朝のバイタルチェックと前日からの様子の記録用紙を看護師と主治医に提出しており、日常的な様子を医療連携している。特に血圧変動、検温での異常は、迅速に医療処置に繋げている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・急変時に備え、診療所の病棟にも入居者の情報についてはご家族了解のもと連携を取っている。当院への入院ではほぼ毎日職員が訪問し様子を確認する。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	・入居時には、重篤化指針を説明し同意を受けている。生活が主体のグループホームではあるが、状態の変化があった場合、主治医との連携のもと本人やご家族の希望に沿ったケアが出来る様に援助を行っている。実際に看取りになった事例もあり家族との話し合いを重ね、カンファレンス行いながら実施した。	入居時に重篤化指針を説明し同意を得ているが、折に触れ主治医と連携をとりながら家族の意向に沿う支援を行っている。管理者は、質が備わった看取りを意識し、チームで取り組めるよう話し合いや研修の在り方を工夫している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	・緊急事故発生時対応として、緊急マニュアルを説明し対応出来る様にしている。又急変時対応の研修も実施した。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	・水害地域であり、河川のライブカメラなどのインターネット情報を受ける体制をとっている。安全研修にて、どの様な災害対策をとっているのかを説明研修した。防災訓練については、実践に即した訓練を回数多く実施したいものである。	水害地域である事に備え、近くの河川や水門の様子をライブカメラでタイムリーに知る事で避難のタイミングなどの安全研修を継続している。ウォーターゲートや同法人の隣接建物の備蓄など対策が取られている。消防署指導による防火訓練や避難誘導訓練は、昼夜を想定して年2回程度、継続している。	

自己評価	外部評価	項目(ほほえみ 1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	H30年度自己評価	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	・ご本人のその日その時の様子をその日の出勤者で共有出来るようにリアルタイムで伝える様に心がけている。自尊心、羞恥心に配慮した言葉かけを行うようにしているが、まだまだ配慮が足りない言葉を使用している現状がある	本人の「今」の思いをチームで共有し、尊重した言葉かけや対応を行い本人の自尊心を損なわないようにしている。トイレ誘導時も羞恥心やプライバシーに配慮した言葉かけや研修を行い、職員同士で対応をチェックしあう事も行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	・日々の関わりの中で、利用者の思いを把握、情報収集する様にし、その様な場面に遭遇した場合には、思いを聞き出すように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々のペースに合わせて過ごして頂きたいと日々思い努力するが、連携がうまくいかず実践出来なかつたりすることもある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	・入浴時外出時等、本人の意向を聞き、好きな物を着用して貰っている。洗面所での整容が各自簡単に出来る様に、BOXの中に必要なものを準備している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食べやすい物、食欲が湧くような盛り付け、器を配慮する。個々にあった食器用具の準備、台所仕事を各自にあった役割で行ってもらう。	配食サービスを利用し、汁物は手作りとし、丁寧な盛り付けと個別の食事形態となっている。職員と共に買い物した食材や、畑でとれた野菜で、お好み焼き、カレー、プリン等、一緒に調理し食事を楽しむことが出来る支援が行われている。玉ねぎの皮むき、食器洗いなど本人の役割機会にもなるよう支援されている。	

自己評価	外部評価	項目(ほほえみ 1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	H30年度自己評価	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>・毎食の摂取量の検討をした上で健康状態が保てる様に対応している、その方にあった食事形態、補助食品の工夫は行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>・毎食後に、口腔ケアを行っている、義歯洗浄もしている。法人内に歯科クリニックがあり歯科医師からの指示、アドバイスを実践、口腔内の状態を確認し定期クリーニング通院もしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>・状況、状態に応じて都度対応を変更し不快な思いをしない様に実践している。ひとり一人の排泄パターンにあったトイレ誘導・声掛け等行っている。</p>	<p>3か所のトイレがあり、分かり易く掲示してあり、トイレ内の呼びベルを有効に活用して個別の排泄ケアを行っている。トイレ誘導時には声かけを工夫し本人の気持ちを確認し無理のない支援が行われている。本人の気持ちと排泄パターンのアセスメントを繰り返し、排泄の自立に向けチームで取り組んだケースもある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>・排便の様子は申し送り等で勤務する職員が把握しており、場合によっては薬で排泄コントロールをしているが、ヨーグルトなどの食品を補助的に摂取する方もいる。朝食後にラジオ体操を実施しており毎日入居者の参加がある。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>・入浴スケジュールはあるが、その日の体調や、希望によって中止し、翌日入浴等に替わることもある。入浴の意思希望を確認し、バスクリンやゆず湯などを楽しむ。入浴中にはCDを流し会話を行う。</p>	<p>浴槽は個浴となっており、いす式の入浴リフトやパネルヒーターが整備されている。週3回以上の入浴が可能になるようスケジュールが組まれているが、本人の気持ちや体調に配慮し、時間帯や見守りなど柔軟に対応する体制となっている。入浴剤や懐かしい音楽でリラックス出来るよう工夫がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(ほほえみ 1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	H30年度自己評価	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	・臥床されたいであろう様子 であれば、声かけて居室へ誘 導している。各入居者の暑が り寒がりを把握し、布団室温 調整を行う。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支 援と症状の変化の確認に努め ている。	個別にファイル管理されており 処方時にはチェックする。変 更時には個別ノートを設けて おり変更事項を記入し確認把 握する。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている。	・日常家事手伝いを希望され る方、職員からお願いする方 等、手伝って頂いている。気 分転換にデイケアへ参加もあ る。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支 援している。	・日常的な外出に関しては、 実践出来ない部分があるが、 外出外食は定期的に計画し、 入居者全員に参加して貰っ ている。お花見、外食など全 員参加の計画と、初盆前の 墓参り、美術館へ行くなど の個別計画を立てている。	その日の要望に合わせ、近 くのスーパーや畑に出かけ ている。生活史や体調を見 ながら車椅子での外気浴も 行っている。また行事とし て花見、外食など全員が参 加できるよう計画実施して いるほか、希望により美術 館、手芸店、墓参りなど個 別の外出も実現する支援が なされている。	
50		○お金の所持や使うことの 支援 職員は、本人がお金を持つこ との大切さを理解しており、 一人ひとりの希望や力に応 じて、お金を所持したり使 えるように支援している。	・買い物の際には同行者入 居者の預かり財布を持ち、 買いたい物の購入へ繋がる 様にしている。		

自己評価	外部評価	項目(ほほえみ 1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	H30年度自己評価	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>・要望があれば、すぐに使用出来る様に対応している。ハガキ手紙の場合には必要物を準備したり促しを行う。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>・玄関に利用者さんの習字絵、リビングには写真、壁画など飾り工夫している。洗面台、フロア、テーブルに花、観葉植物等飾り、1年の行事季節にあったものを飾っている。</p>	<p>玄関やテーブルには庭で咲いた季節の花や観葉植物が置いてあり、外出時の写真や習字などを飾っており、会話のきっかけやリラックスできるように工夫されている。またリビングや畳空間では、洗濯物を畳んだり穏やかな雰囲気の中、思い思いに居心地よく過ごされるように取り組まれている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>仲の良い入居者同士隣席にし、1人でも過ごせる様に談話室を使用している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>・居室にご本人の思い出の品、大事な写真等を飾り、リラックス出来る空間になる様に工夫している。</p>	<p>居室には家族と相談しながら、使い慣れた布団、家具、テレビなどを持ち込み、思い出の写真や仏壇などのほか、ご自分の作品などを飾り、本人が居心地よく過ごせるよう支援がなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>・トイレには便所などの目印をして、わかり易くしている。ある入居者には転倒防止のため、用事の際にはベルを鳴らしてもらっている。</p>		

V アウトカム項目(1階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム博寿会ほほえみ

作成日 平成30年10月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の家族の出席率が低下している。	毎回3名以上の家族の出席がある。	出席を促す声掛けや介護支援に関するテーマを題材にした話など定期的に行っていく。	2か月～4か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。